



平成 29 年 11 月 7 日に福岡市発達教育センターにおいて企業セミナーを開催しました。今回のセミナーは基調講演とパネルディスカッションの 2 部形式で行いました。基調講演では、今後日本において深刻になるであろう「労働人口の減少」をテーマに、企業における労働力確保と組織経営について、経営コンサルティングの専門家である有限会社 HR エージェント取締役の佐藤康弘氏にご講演いただきました。

またパネルディスカッションでは、夢ふくおかネットワークの登録企業 3 社にパネリストとしてご参加いただき、各社の障がい者雇用の事例報告や意見交換などを行いました。

当日は、市内近郊 34 社 62 名の企業・事業所の担当者にご参加いただき、障がい者雇用をはじめ、企業が今後取り組むべき課題について熱心に耳を傾けておられました。

H29 年度

企業セミナー

を開催しました

【福岡市教育委員会挨拶】

発達教育センター

所長 森 孝一



基調講演

有限会社
HR エージェント
取締役
佐藤 康弘氏



【講師プロフィール】

経営コンサルティング業のかたわら、知的障がい者向け職業教育の実施と教職員や労働行政職員を対象にしたノウハウの指導を行っておられます。また夢ふくおかネットワークのアドバイザーとしてもご尽力いただき、企業との豊富なネットワークを通じて障がい者雇用の戦略化に向けた取組を行っておられるほか、福岡県事業において介護・福祉・医療事業者向け経営指導コンサルタントとして活躍中です。

人口減少時代における労働力確保と組織経営について 組織能力の強化等、今後取り組むべき施策を考える

佐藤氏はまず、日本における人口減少の実態をグラフを使って示され、類を見ない急激な人口減少時代の到来を述べたうえで、少子高齢化による労働力不足が日本の経済基盤を大きく変えるということ、そしてそのような事態に備えた企業の施策の必然性について言及されました。特に地方からの人口流出は、地方自治体の存続の危機にもつながるというお話は、地方都市である福岡も他人事ではないと考えさせられる内容でした。

さらに労働人口減少における企業の対応策として、組織能力の向上を人材確保と育成の観点からお話しされ、売り手市場の中での人材確保のポイントを示されました。これからの組織経営に大変参考になるお話で、各企業担当者の方々も真剣な表情で聞き入っておられました。

人口減少の労働市場の中での人材確保のポイント

● 業種業界を問わず、他社を選ぶよりわが社を選ぶ理由(魅力)を言えるか？

- ① 差別化レベルを超えた魅力(労働条件・労働環境以外)を社風として構築
- ② キャリアプラン・ファイナンシャルプラン・ライフプランが
社内内で実現できる組織体制
- ③ 人生3大プランの構築ノウハウを人材育成体系に組み込む
(3大スキルだけではなく)
- ④ ワークライフバランスマネジメント
- ⑤ リクルーティング専門業者に丸投げしない体制
- ⑥ 労働市場動向を部門長クラスまで理解させる
(容易に採用ができない⇒育成に注力)
等々

● 確保する人材の範囲を広げる事(選択肢)ができるか？

- 要員計画・要員管理を「人」だけに求めない⇒選択肢が多ければ多いほど優位になる
- ① PC化(省力化)
 - ② ロボット化(人からの振り替え)
 - ③ AI化(人からの振り替え)
 - ④ 障がい者(福祉の視点から人材視点への切り替え・省力化)
- 等々

● 政府構想の「地方中核拠点都市」に対応(先取り)できるか？

- ① 国・自治体が目指すコンパクトシティ(集約)と
ネットワーク(連携)の都市づくりに連動
- ② 立地適正化計画との連動(都市機能・居住機能誘導)
- ③ ①+②の流れを変える施策
⇒流れに沿った立地・商売ができるかどうか
等々

パネルディスカッション



2部のパネルディスカッションでは、夢ふくおかネットワークにご登録いただいている3社の人事・採用担当者の方にご登壇いただき、1部で講演された佐藤氏の進行で、障がい者雇用にスポットを当てた人材確保と育成についてそれぞれの事例をご紹介いただきました。質問形式での発表は具体的でとてもわかりやすく大変好評でした。参加された皆様からは「またこのようなセミナーを開催してほしい」とご意見を頂戴いたしました。

パネリスト企業の方々

ASKUL LOGIST 株式会社
福岡物流センター
副センター長 坂井 博基 氏

医療法人相生会
管理本部
課長 田口 宏 氏

特定医療法人財団博愛会
事務長 呼子 修一 氏



ASKUL LOGIST(株)福岡物流センターでは2011年から障がい者を雇用し、短期間で多くの障がいのある人を雇用、福岡物流センターだけで障がい者雇用率は16%にもなり、全社の障がい者雇用を福岡で引き上げている状況だということです。雇用している障がい者の大多数は特別支援学校の高等部卒業生となっており、採用過程はもちろん、採用後も特別支援学校との連携は欠かせないとのことでした。

障がい者雇用を戦力化していく仕組みづくりを行う上では、その人の個性や得意分野を見極め、適した業務をさせていくことがポイントだということです。

また障がい者雇用の中で最も重視するのは、フォロー体制の構築とのことでした。それぞれの悩みや困りごとをいかに早く拾っていくかが、障がい者雇用の定着率につながっていくと話されました。

医療法人相生会では、障がい者により積極的な雇用に向けて、まず本部に推進チームを設置し、核となる職員を配置したそうです。配置した職員の知識や理解を深めるため、セミナーや講習会の受講、また特別支援学校や雇用先進企業の見学を実施しつつ、法人内に向けては、障がい者雇用への意識改革を図り、障がい者に携わっていただく業務の切り出しも推進してきたとのことでした。また、現在はモデル事業として、病院・介護施設内における清掃・介護業務に、複数の障がい者を起用した専属チームを構築中とのことでした。

障がい者雇用のメリットとして、業務の切り出しが他の専門職の効率化や負担削減につながったこと、障がい者にわかりやすく工夫したことが事業所内の環境整備になったこと、障がい者の存在が職場の雰囲気や以前にもまして明るくなったことなどが紹介されました。

特定医療法人財団博愛会では、積極的に障がい者雇用に取り組み、今では博愛会は事業を運営する上で障がい者雇用がなくてはならない存在ということです。

障がい者の業務については、仕事を切り出してあてがうというより、採用前の面談で本人ができる業務を把握し、その業務の創出を図るといったスタイルで障がいのある方の戦力化につなげています。

また障がいのある方の意見を聞く人と指導する人を切り分け、その窓口を一本化するという仕組みでコミュニケーションが苦手な方にもうまく対応しているそうです。

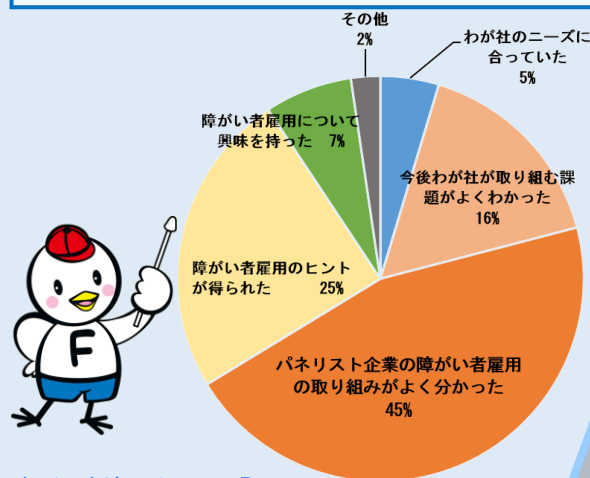
博愛会は社員を大事にするのが企業理念であり、それは障がいのある方も同じ。しかし障がい者への思いだけでは難しい部分があり、障がい者雇用についてはしっかりと仕組みをつくること、そしてその仕組みをうまく機能させることが肝心だと話されました。

ご参加いただいた皆様からのセミナーの感想の一部をご紹介します。

- ◆ まさに人口減少時代がまじかに迫り、社会全体でどうするんだと考えさせられました。個人的には中小企業が消えていくのかと思いました。
- ◆ 『人』に関する大きな問題をわかりやすく解説していただき、わが社の問題が見えてきました。重たい問題ですが、避けられない重大な問題だと改めて認識させていただきました。
- ◆ 人口減少時代になっても障がい者雇用の対応については人と人の関わりが大事だと思っています。個人的にはAI化にはなってほしくないですね。
- ◆ 内容はメモを取る手が止まることがないくらい刺激的で充実したものでした。参加して本当に良かったと思います。
- ◆ 障がいの特性や程度により業務割をして体制づくりをすることが必要だと感じました。他の職員の理解が得られるかとかいろいろ不安はあるのですが、障がい者が活躍できる場を前向きに考えたいと思います。
- ◆ 現在、人を育てる教育システムを考えていく必要があるので、今回のセミナーはとても良い機会となりました。
- ◆ パネルディスカッションでは障がい者雇用について聞きたいことが業種別に聞けました。
- ◆ 障がい者間のトラブル解消が難しい中、根気強く話をしていくことが大事だと思いました。
- ◆ 個々の障がい者の方の内面が分からずに期待しすぎたり、仕事を与えすぎたりしていることがわかりました。一人一人との話し合いの時間を増やしていきたいと思います。

アンケート回答

Q. セミナーでどのあたりが役に立ちましたか？



【セミナー開催にあたり、たくさんのご協力・ご参加、ありがとうございました。】

ChalleKid's チャレキッズ 福岡県から表彰されました!!

チャレキッズ
～障がいのある子どもたちの夢を叶えるプロジェクト～

福岡市とNPO法人の協働事業で取り組んだ「チャレキッズ」プロジェクトが、福岡県の平成29年度「ふくおか共助社会づくり表彰」に選ばれました。これは地域の課題解決に向け、NPO法人やボランティア、地域、行政等が一体となって実践する取組に対して表彰するもので、選考の結果今年度は8件の取組（32団体）が受賞しました。

「チャレキッズ」とは、障がい児・者の就労促進と就労の定着支援を目的に、小・中学校期からの早期職業教育と、保護者・教員・企業等の理解促進を図るため2年間に渡って取り組んだプロジェクトで、「夢ふくおかネットワーク」が担当しました。地場25社の企業や事業所に協力いただいた仕事体験や、夢の実現に向けたロードマップづくり等を通じ、就労や将来の夢、可能性について障がい児・者本人や保護者、支援者らが早期から考える機会を提供してきたことが評価につながりました。

これまでご協力いただいた企業の皆様やボランティアの皆様には心からお礼申し上げます。「夢ふくおかネットワーク」としての「チャレキッズ」プロジェクトは終了しましたが、障がいのある子どもたちの就労・自立に向け、こうした活動がもっと広がることを期待したいです。



お仕事体験の一例↑

保護者セミナー のお知らせ

2月17日(土)



↑ 前回の保護者向けセミナーの様子

時間 : 13:30~15:30(受付 13:00~)

場所 : 福岡市発達教育センター3F 第1研修室
(福岡市中央区地行浜 2-1-6)

内容

- 特別支援学校卒業生の就労について
- 卒業生とその保護者に話を聞いてみよう!
特別支援学校卒業生とその保護者の体験談
・博多高等学園卒業
・株式会社九州ビルサービス福岡 勤続9年
～今の仕事や生活のこと、在学時のこと～

※プログラム内容は若干変更になる場合もございます。
ご了承ください。

【お問合わせ・参加お申込み】

発達教育センター(担当:山本・赤松)

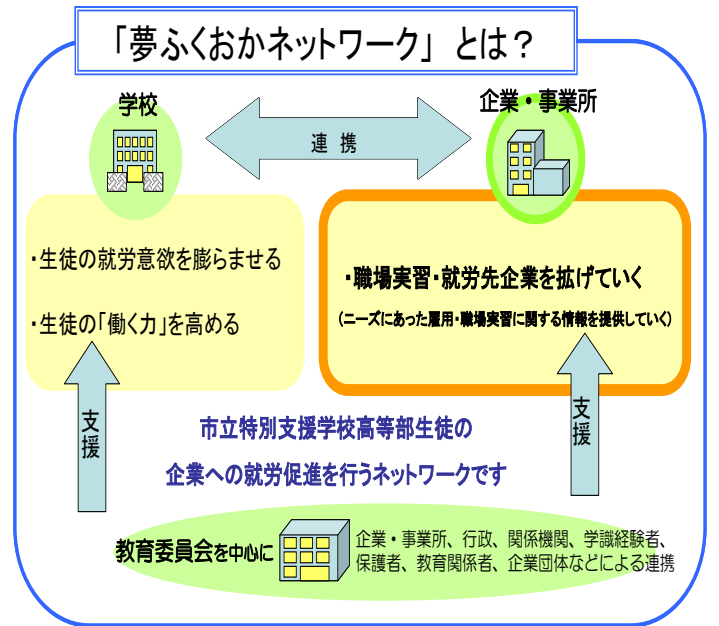
TEL:092-845-0015 FAX:092-845-0025

「夢ふくおかネットワーク」登録企業を募集いたします!!

福岡市教育委員会は、企業・事業所、学校、関係機関、保護者、学識経験者等によるネットワークを立ち上げました。障がいのある市内高等部生徒の企業・事業所就職を、雇用される側(生徒)、雇用する側(企業・事業所)の両側から捉え、推進していく取組を行っていきます。登録いただいた企業・事業所様へは、特別支援学校に関する情報の発信、企業・事業所間での情報交換の場の提供などを行っていきます。

《事業内容》

- 総会(年1回) ● 会報発行(メールにて配信)
- 各種セミナー開催
- 学校見学会、雇用企業・事業所見学会などのイベント開催
- * 生徒の職場実習(インターンシップ)や雇用をお考えの企業・事業所様からのご相談を受けます



現在、221社の企業・事業所様にご登録いただいています。

(平成29年12月31日現在)

*「夢ふくおかネットワーク」登録ご希望の方は
発達教育センター就職指導員(赤松)まで

福岡市教育委員会 発達教育センター

福岡市中央区地行浜2丁目1-6

TEL 092-845-0015

FAX 092-845-0025

E-mail yume_city.fukuoka.lg.jp

HP <http://www.fuku-c.ed.jp/schoolhp/hattatuc/>

「夢だより」についてのご感想、ご意見などをお寄せください。

※左記参照

